

災禍のなかで

いま、考える『関東大震災』

5.14

▼

5.19

特別企画

CINEMA WEEK 2024

Kamakura City Kawakita Film Museum

チケット
発売日 **4.13** [土]

特別企画料金

一般 **1200**円 小・中 **600**円 学生

トーク付き上映

一般 **1600**円 小・中 **800**円 学生

関東大震災から100年の節目を迎えた2023年、これまで知られてこなかった歴史を含め、異なる角度から震災を描いた映画が大きな注目を集めました。そして2024年元日に起こった能登半島地震によって、私たちは大地震との対峙が他人事ではないことを再び思い知らされました。

鎌倉市川喜多映画記念館では、関東大震災とその中で起こった悲劇を立体的に浮かび上がらせる3本の映画を通して、この災禍を改めて考える特集上映を実施します。



©「福田村事件」プロジェクト 2023



©2017. CINEWORLD & MEGABOX JOONGANG PLUS M. ALL RIGHTS RESERVED



国立映画アーカイブ提供

1 福田村事件

2023年/日本/カラー/137分/DCP

PG12

監督:森達也

出演:井浦新、田中麗奈、永山瑛太、東出昌大、水道橋博士、豊原功補、コムアイ、木竜麻生

関東大震災から5日後、千葉県福田村で100人以上の村人により香川からの行商団が殺される事件が起こった。

——歴史の闇に葬られてきた「福田村事件」を掘り起こし、不安や恐怖に煽られて暴走する集団心理を描く。ドキュメンタリーの名匠・森達也監督が現代にも通じる問題意識を問いかけた初の長編劇映画。

2 金子文子と朴烈

パク・ヨル

2017年/韓国/カラー/129分/DCP

PG12

監督:イ・ジュニク

出演:イ・ジェフン、チェ・ヒソ、キム・インウ、キム・ジュンハン、山野内扶、金守珍

1923年の東京、「不逞社」という組織で活動するアナキストの朴烈(パク・ヨル)と金子文子は互いに惹かれ合うが、震災直後、朝鮮人の虐殺や社会主義者の検挙が相次ぐ混乱のなか刑務所に収監され、大逆事件で裁かれることになる。

——震災前後の知られざる歴史とともに一人の日本人女性の強烈な生を描き、日本でも大ヒットした。

3 カメラを持った男たち

～関東大震災を撮る～

2023年/日本/カラー・白黒/81分/DCP

PG12

演出・脚本:井上実

出演:小宮求茜、高坂定男、白井泰二、芦沢明子、とちぎあきら、田中傑

100年前の関東大震災、倒壊と火災により未曾有の被害を受けるなか、罵声を浴びながらも当時の様子を記録したカメラマンたちがいた。

——残された映像から「岩岡巽・高坂利光・白井茂」という3人のカメラマンの足跡を紐解き、記録を残すことの意義を問うドキュメンタリー。キネマ旬報ベスト・テン文化映画第1位。

5.14 [火]

10:30 ①福田村事件

14:00 ③カメラを持った男たち

5.15 [水]

10:30 ①福田村事件

14:00 ②金子文子と朴烈

5.16 [木]

10:30 ③カメラを持った男たち
*英語字幕付き上映

14:00 ①福田村事件
*バリアフリー上映

5.17 [金]

10:30 ②金子文子と朴烈

14:00 ①福田村事件

5.18 [土]

10:30 ①福田村事件

14:00 ③カメラを持った男たち
トーク付き上映

5.19 [日]

10:30 ②金子文子と朴烈

13:30 ①福田村事件
トーク付き上映

トーク付き上映

一般
1600円

5.18 [土] 14:00

③ カメラを持った男たち
上映後

■ゲスト+トークイベント

とちぎあきらさん ■関東大震災映像デジタルアーカイブ
(フィルムアーキビスト)

井上実監督 ■100年前のフィルム映像から新作を創る
(記録映画監督)

小・中
学生
800円

5.19 [日] 13:30

① 福田村事件 上映後

■ゲスト+トークイベント

チェ・ソンウク
崔盛旭さん
(映画研究者)

『福田村事件』と
『金子文子と朴烈』をつなぐもの



Kamakura City Kawakita Film Museum



鎌倉市川喜多映画記念館
https://kamakura-kawakita.org
〒248-0005 神奈川県鎌倉市宮ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

開館時間: 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
休館日: 月曜日(4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)
主催: 川喜多・KBSグループ
【鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者】